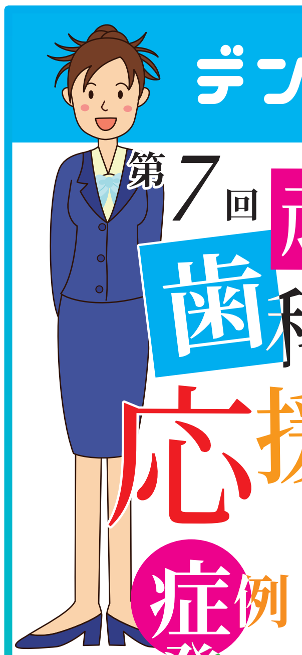
デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.41



第7回 頑張っている歯科衛生士への応援メッセージ

「私ってこのままでいいのかな…？」日々成長真っ只中のDHより皆さまへの「応援メッセージ」をお届けします！

4.14 Sun　10:00～16:00　ピュアリティまきび
イオンモール岡山となり

協会会員限定企画 スタッフ参加無料
歯科医師(院長・勤務医)の参加費：5,000円

症例発表

13:05～ 西本 彩子 歯科衛生士（はら歯科医院）『私が成長できた5年間』～歯科衛生士として人として～

13:40～ 松本 早記 歯科衛生士（緑川歯科医院）『本物の歯科衛生士になるために』～出逢いと縁が私を変えた～

14:15～ 吉田 咲紀 歯科衛生士（和気歯科医院）『私の人生を変えた3つの分岐点』

掲載の講演時間は変更となる場合があります。詳細は協会ホームページにてご確認ください。

「歯科衛生士としてのやりがいと将来の展望」

中澤正絵 先生　医療法人盟陽会 富谷中央病院 歯科衛生士長　日本歯周病学会認定歯科衛生士・宮城県糖尿病療養指導士

10:05～ 特別講演　歯科衛生士としてできる改善と予防とは

日本における糖尿病患者は4人に1人となり、歯科医院でも糖尿病患者を診る機会が増えてきています。歯周病は糖尿病第6の合併症といわれ、糖尿病を理解することは歯科衛生士にとってとても重要です。今回は歯周病と糖尿病の関係についてわかりやすく解説しながら私の普段の臨床をご紹介するとともに、歯周病治療のポイントについてお話しいたします。(抄録より)

15:00～ 基調講演　歯科衛生士としてのやりがいと将来の展望

生涯を通じた口腔機能維持のため、歯科衛生士には口腔ケアや歯周病管理、メインテナンスなど数多くの役割が求められています。

特に糖尿病治療では医師や看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、糖尿病療養指導士と連携し、患者さんの健康回復と維持のサポートをしていく必要があります。今回は歯科衛生士でなければできない社会貢献について一緒に考えてみたいと思います。(抄録より)

申込方法｜岡山県保険医協会 ホームページ申込みフォーム からお申し込み下さい http://okayama-hok.com

---

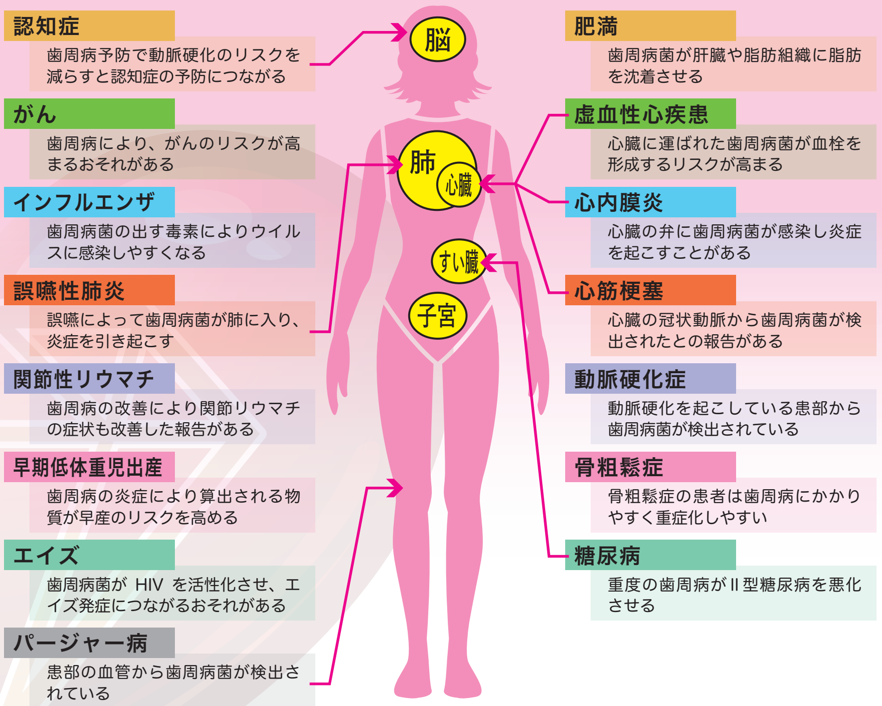
DH Pro.セミナー講師 山﨑瑞穂先生によるコラムのコーナー

謹んで新年のお祝辞を申し上げます。本年も「学びの機会、学ぶ場」を積極的に作り、皆様に還元できるように取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回は全身状態の把握を取り上げたいと思います。しっかり感染源を除去したのに反応が悪い…「なぜ？どうして？」と悩むことがあると思います。勿論、歯周病やう蝕は細菌感染症ですが、問題が口腔内だけではないということも念頭に考える必要があるのではないでしょうか？患者像をきちんと把握し、生活者として多面体、立体的に捉える。患者の立場で考えてみる。患者の体で何が起こっているのか？という全人的アプローチを行い、口腔内も体の一部という視点で患者の全身状態を把握することが重要です。歯周病は全身の病気に関係しているといわれており、口腔から歯周病菌や炎症物質が血液に入り込み、全身に運ばれて悪影響を及ぼすと考えられています。

とくに糖尿病は歯周病と関連が深く、歯周病菌に対する免疫反応から生じるサイトカインがインスリンの働きをさまたげることが分かっています。歯周病があると糖尿病のリスクが高まるだけでなく、糖尿病の治療においても血糖値のコントロールが難しくなると言われています。

口腔内も健康！体も健康！



その他にも、①歯周病の人は健康な人に比べて心筋梗塞を起こすリスクが3倍近く高い。②15～39歳の若い世代（AYA世代）が歯周病に罹っていると心臓病や心筋梗塞を起こす確率が上がる。③血流に乗って運ばれた歯周病菌が血管壁に付着すると動脈硬化が進行するのではないかと考えられているなど、多種多様な全身疾患との関連が指摘されています。